

歯科衛生士概論 第1回 歯科衛生士の歴史 レポート（テキストp8～19）

クラス 番号 名前

※年号ごとに、起こったことまとめる

<アメリカでのDHの誕生> DH略の意味（ ） p10～

1907年

1913年

1914年

日本の歯科衛生業務の発展 p10～

1. 歯科衛生士誕生前

1919年 岡田 満

1921年 川上為次郎

1921年（大正10年）（新潟県） 歯科医師会が 歯科診療の補助や口腔衛生の普及のため 歯科衛生手の養成を開始

1922年～39年（大正11年～昭和14） 神谷市太郎

2. 歯科衛生士法 設置 （年号ごとに、行ったこと）

1945年 第2次世界大戦終戦

1946年 歯科教育審議会が発足し日本でも歯科衛生士の必要性が述べられる。

1947年（S22年） p10～

連合軍総司令部（GHQ）が日本の公衆衛生について大改革を始める。

保健所法改正・・・保健所業務に歯科衛生業務が加えられた

1948年（S23年）

3月 保健婦が2週間の講習を受け 配置された。（業務は歯科予防処置）

7月 歯科衛生士法制定

歯科予防処置を行う業務（歯牙および口腔の疾患の予防処置）

1949年 7月 p13 歯科衛生士教育が始められる 1年以上 74名が第1号

3. 歯科衛生士法 改正 p12～

1955年（S30）8月16日 法律改正（DH法2条2項） 歯科診療補助が加わった。

「歯科衛生士たちへ」を読んで